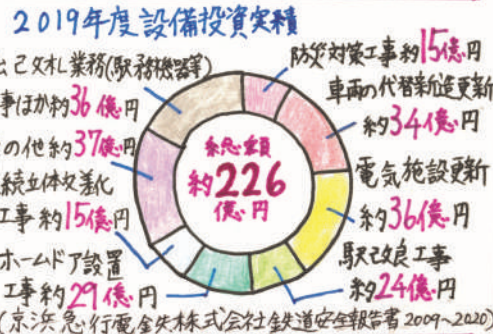


ぼくは小さい頃から電車が大好きで今まで休みの日にいつも電車に乗って出かけた。車両を見に行ったりして。今年には新型コロナウイルスの影響で電車で出かけられない日が続いていたので、夏休みに久しぶりに京急系線に乗ったら上大岡駅の乗りホームのホームドアが稼働してさらに安全な駅に進化していました。そこで京急系線上大岡駅の安全対策は他にどのようなものがあるのか調べてみる事にしました。

安全のためにはこの人にお金がかかっている!



安全関係投資額約190億円(約84%)

ちなみに... ぼくの生まれた2009年度から2019年度までの過去11年間の安全関係投資額の合計はなんと約**2141億円**!!

安全+第一新聞

京急線 上大岡駅

横浜国立大学 教育学部附属 横浜小学校5年 和泉 真聡

2020年 8月発行

ぼくが選んだ上大岡駅の安全対策 ベスト 5!!

第5位 乗車位置目標の変更

以前に比べて乗降口や種別に並ぶラインが増えて分かりやすく進化。乗り間違えや乗客同士の接触事故トラブルを防止するのに役立っています。



第4位 AED(自動体外式除細動器)の設置

1階中央改札と3階改札の中に2ヶ所設置されています。京急線では全駅の係員が普通救命講習を受講していて2019年度は京急系線内で21人の乗客にAEDが使用されました。

第3位 非常停止ボタンの設置

運転士に危険を知らせる非常停止ボタンが1番線に4ヶ所、2,3番線に5ヶ所、4番線にも4ヶ所設置されています。ボタンの位置を知らせる表示板も多くつけられています。上大岡にはまだありませんか? 乗客の申告にすぐ答えられる様に駅事務室への設置も始まっています。



第2位 監視カメラ(IVT)の設置

ホームがカブって先が見づらいため、車掌さんかドアを操作する際に安全確認をしやすいように、1番線に2台、4番線に3台の監視カメラモニターがあります。モニターも見やすく進化しています。



新型コロナウイルス対策

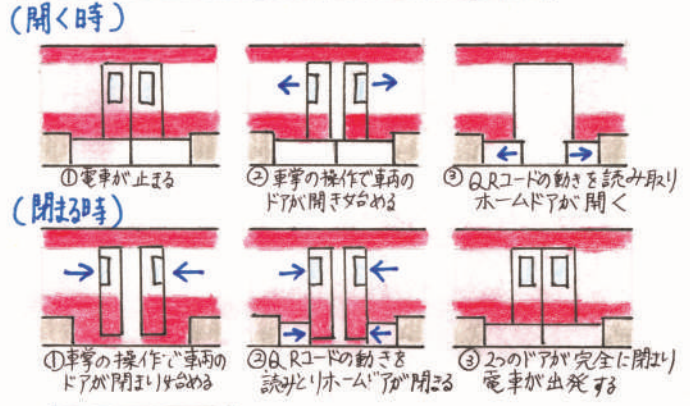
京急線では金鉄道連絡会が定めるガイドラインの内容に加えて、外気導入による車内換気や抗ウイルス・抗菌剤によるコーティングなどを行っている他、混雑緩和のため、朝のラッシュ時や土曜・休日に8両編成から12両編成へ一部の電車を変更して運行しています。上大岡駅では3階窓口は閉め、用事のある場合はインターホン対応とし、その事を伝える人感センサー付きスピーカを設置するなどの対策をしていました。



★第1位 ホームドアの設置★

上大岡駅にもついに下りホームが2019年11月末に、上りホームは2020年2月中旬からホームドアが稼働し始めました!! 京急系線は他3路線系と相互直通運転をしているため、一般的なホームドアと他路線系にも大きな負担がかかってしまうことや、4両編成から12両編成まで様々な長さの車両が走っていて車両のドア数も様々な京急系線は、これまで乗降客が多い駅もホームドアの設置が進んでいませでした。この問題を解決したのが日本発祥の二次元コード「QRコード」を用いたシステムです。これは車両の一部のドアにQRコードシールを貼りつけてそのQRコードシールをホームに取り付けてあるカメラが読み取ることでホームドアを開閉するシステムです。ここで使われているQRコードシールは光の反射などに影響されにくい材質で、50%が欠けていても読みとれる「tQR」TMといわれるものです。このシステムの開発によって、上大岡駅にもホームドアが設置されました。

QRコードを利用したホームドアの動き



(日本経済新聞2018年2月9日他)

編集後記

駅の安全対策は皆が気付かない様などころでどんどん進化している人だなと思いました。またとても多くのお金がかかっていることにもびっくりしました。ぼくたちの行動次第で安全対策の効果も変わると思うので、今まで以上に安全に気をつけて電車を利用していきたいです。コロナ対策等でお忙しい中手紙での質問に回答くださった上大岡駅の皆さまありがとうございました。

